

経営情報レポート

歯科医院経営データ分析

平成 23 年 歯科医療法人 経営実績報告

- 1 平成 23 年 医療法人経営データ分析
- 2 平成 23 年 優良歯科医院の経営実態
- 3 平成 23 年 医療法人経営指標分析



1 | 平成 23 年 医療法人経営データ分析

*分析母体：歯科診療所（医療法人 70 件）の平成 23 年の決算データを集計。

*医業収入、医業費用等の 1 医院平均を算出、前年比較をし、参考データとする。

■平成 23 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
I 医業収入	62,586	59,740	95.5
1. 保険診療	55,598	53,016	95.4
2. 自由診療収入	6,456	6,163	95.5
3. その他の医業収入	532	561	105.5
II 変動費	13,029	11,607	89.1
医薬・歯科材料費	6,435	5,379	83.6
外注技工料	6,594	6,228	94.4
III 限界利益	49,557	48,133	97.1
IV 医業費用	47,641	47,405	99.5
1. 人件費	30,385	30,197	99.4
(うち役員報酬)	(17,556)	(16,557)	(94.3)
2. その他固定費	17,256	17,208	99.7
減価償却費	2,611	2,098	80.4
接待交際費	1,007	999	99.2
研究研修費	273	324	118.7
保険料	973	1,008	103.6
旅費交通費	792	813	102.7
通信費	591	546	92.4
消耗器具備品費	720	715	99.3
水道光熱費	1,007	1,118	111.0
その他	9,282	9,587	103.3
V 医業収益	1,916	728	38.0

1 | 経営実績 対前年度比較分析

(1) 医療法人経営における全体動向

平成 23 年歯科医療法人の経営実績は、全法人平均で減収減益となりました。

医業収入は 4.5%の減少で、その内訳は保険診療 4.6%、自由診療 4.5%の減少となっています。過去の本調査データと対比すると、3期連続の減収です。一方、変動費は 10.9%減少、医業費用は 0.5%減少していますが、収入減をカバーするには至らず、結果として大幅な減益（前年対比 38%）となっています。

- 医業収入は、対前年比 4.5%の減少、金額にして 2,846 千円減少しています。社会保険収入、自由診療収入とも減少しています。
- 歯科材料費や外注技工料等の変動費は対前年比 10.9%減少、金額にして 1,422 千円減少しています。
- 医業費用は、対前年比 99.5%でほぼ前年並みでした。金額にして 236 千円の減少となっています。内訳としては、役員報酬、減価償却費、接待交際費、通信費は減少していますが、その他人件費、研究研修費、水道光熱費が増加しています。
- 医業利益は 728 千円で、対前年比 38.0%と大幅に減少しました。

(2) 利益の状況

収入 4.5%のマイナスに対し、限界利益はマイナス 2.9%にとどまりました。歯科材料費や外注技工料等の経費削減努力により、変動費が減少したためと思われます。医業利益は、62%のマイナスとなりました。金額にして 1,188 千円であり、収入の減少 2,846 千円を変動費や固定費の削減（計 1,658 千円）でカバーしきれなかった結果といえます。

役員報酬の引き下げや、接待交際費の減少などコスト削減の苦労が経営実績を通して見えてきます。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
限界利益	49,557	48,133	97.1%
医業利益	1,916	728	38.0%
経常利益	2,244	1,013	45.1%

2 | 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
医業収入合計	62,586	59,740	95.5%
保険診療収入	55,598	53,016	95.4%
自由診療収入	6,456	6,163	95.5%
その他医業収入	532	561	105.5%

(2) 医業収入分析

- 医業収入は、平成 23 年調査対象全法人平均で 59,740 千円、対前年比 4.5%の減少となりました。
- 医業収入の内訳では、保険診療、自由診療とも減少しています。
保険診療は前年対比 4.6%、自由診療収入は前年対比 4.5%の減少となりました。
- 総収入に占める自由診療収入の割合は、平成 22 年、および 23 年ともに全法人平均 10.3%となっています。

3 | 変動費・医業費用 対前年増減比較

(1) 変動費・医業費用対前年比較

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
変動費合計	13,029	11,607	89.1%
変動費率	20.8%	19.4%	△ 1.4%
薬品・歯科材料費	6,435	5,379	83.6%
外注技工料	6,594	6,228	94.4%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入比%)	平成 23 年	(対収入比%)	前年対比(%)
人件費合計	30,385	45.3%	30,197	50.5%	99.4%
役員報酬	17,556	28.1%	16,557	27.7%	94.3%
その他人件費	12,829	20.5%	13,640	22.8%	106.3%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入比%)	平成 23 年	(対収入比%)	前年対比(%)
固定費合計	16,417	24.5%	15,256	24.4%	92.9%
減価償却費	2,611	4.2%	2,098	3.5%	80.4%
接待交際費	1,007	1.6%	999	1.7%	99.2%
研究研修費	273	0.4%	324	0.5%	118.7%
保険料	973	1.5%	1,008	1.7%	103.6%
その他	11,553	16.8	10,827	17.0	93.7%

(3)変動費・医業費用分析

●変動費

平成 23 年全体平均で 11,607 千円、対前年比 10.9%の減少となりました。

各医院とも歯科材料費や外注技工料の削減を図っている結果が数値に反映されています。

●人件費

平成 23 年全体平均で、30,197 千円となり、対前年比 0.6%の減少となりました。

スタッフの人件費は 6.3%増加しており、減少は役員報酬の引き下げによるもので、これは平均で年間約 1,000 千円の引き下げとなっています。

●その他医業費用

平成 23 年全体平均で、15,256 千円となり、対前年比 7.1%の減少となりました。

減少額は 1,161 千円であり、そのうち減価償却費が 513 千円と全体の 50%を占めています。よって、実質の経費減少は 648 千円となります。

2 | 平成 23 年 優良歯科医院の経営実態

*分析母体：歯科診療所（医療法人 70 件）の平成 22 年の決算データのうち、医業収入上位 20%（14 件）を抽出し、優良法人として経営データを集計。

■平成 23 年 優良法人比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
I 医業収入	116,545	114,349	98.1
1. 保険診療	100,018	99,651	99.6
2. 自由診療収入	15,318	13,314	86.9
3. その他の医業収入	1,209	1,384	114.5
II 変動費	23,940	23,470	98.0
医薬・歯科材料費	10,065	10,194	101.3
外注技工料	13,875	13,276	95.7
III 限界利益	92,605	90,879	98.1
IV 医業費用	91,428	89,243	97.6
1. 人件費	56,636	55,712	98.4
（うち役員報酬）	(28,788)	(27,638)	(96.0)
2. その他固定費	34,792	33,531	96.4
減価償却費	6,343	5,445	85.8
接待交際費	2,383	2,405	100.9
研究研修費	475	563	118.5
保険料	1,709	1,634	95.6
旅費交通費	1,631	1,868	114.5
通信費	899	926	103.0
消耗器具備品費	1,259	1,094	86.9
水道光熱費	1,640	1,867	113.8
その他	18,453	17,729	96.1
V 医業収益	1,177	1,636	139.0

1 | 収益性 優良法人の実態

(1) 優良法人平均では、「減収・増益」

平成 23 年歯科医院経営実績は、全体平均では減収・減益でしたが、医業収入上位 20% の優良法人では、減収・増益となりました。医業収入をみると、全体平均では対前年比 4.5% の減少に対し、優良法人は 1.9% の減少にとどまっています。

また、医業利益は 1,636 千円、対前年比 39% の増加となりました。全体平均では減益だったのに対し、優良法人は増益となっています。

- 医業収入は、対前年比 1.9% の減少、金額にして 2,196 千円減少しました。保険収入、自費その他収入とも減少しています。
- 医業費用は、対前年比、総体でみると 2.4% 減少しています。金額で 3,185 千円削減されています。
- 医業利益は、対前年比 39.0% の増加、金額では 459 千円増加しました。

(2) 優良法人の利益の状況

限界利益は、1.9% のマイナスとなりました。収入が 1.9% 減少しているため、同率の減少となっています。一方、医業利益は 139.0%、金額にして 459 千円の増益となっています。限界利益の減少 1,726 千円に対し、医業費用が 2,185 千円減少しているためです。但し、医業費用のうち 898 千円は減価償却費であり、実質的な削減額は 1,287 千円です。

■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
限界利益	92,605	90,879	98.1%
医業利益	1,177	1,636	139.0%
経常利益	3,245	3,888	119.8%

2 | 医業収入 優良法人の実態

(1)優良法人 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
医業収入合計	116,545	114,349	98.1%
保険診療収入	100,018	99,651	99.6%
自費・労災・自賠	15,318	13,314	86.9%
その他医業収入	1,209	1,384	114.5%

(2)医業収入分析 優良法人(医業収入上位 20%)

- 医業収入は、平成 23 年調査対象優良法人平均で、114,349 千円となりました。対前年比 1.9%の減少となり、金額で 2,196 千円の減少でした。
- 医業収入の内訳では、保険診療、自由診療とも対前年比で減少しており、特に自由診療収入はマイナス 13.1%と減少率が大きくなっています。

3 | 医業費用 優良法人の実態

(1)優良法人 医業費用対前年比較

①変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
変動費合計	23,940	23,470	98.0%
変動比率	20.5%	20.5%	—
薬品・歯科材料費	10,065	10,194	101.3%
外注技工料	13,875	13,276	95.7%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入比%)	平成 23 年	(対収入比%)	前年対比 (%)
人件費合計	56,636	48.6%	55,712	48.7%	98.4%
役員報酬	28,788	24.7%	27,638	24.2%	96.0%
その他人件費	27,848	23.9%	28,074	24.5%	100.8%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入費%)	平成 23 年	(対収入費%)	前年対比(%)
固定費合計	34,792	29.9%	33,531	29.3%	96.4%
減価償却費	6,343	5.4%	5,445	4.8%	85.8%
接待交際費	2,383	2.0%	2,405	2.1%	100.9%
研究研修費	475	0.4%	563	0.5%	118.5%
保険料	1,709	1.5%	1,634	1.4%	95.6%
その他	18,453	15.8%	17,729	15.5%	96.1%

(2)医業費用分析 優良法人(医業収入上位 20%)

●変動費

平成 23 年優良法人平均で、23,470 千円となりました。
対前年比 2.0%の減少となり、医業収入の減少幅に比例しています。

●人件費・役員報酬

平成 23 年優良法人平均で 55,712 千円、対前年比 1.6%の減少となりました。
売上対比の人件費率は 48.7%で、全診療所平均より低くなっています。

●その他医業費用

平成 23 年優良法人平均で 33,531 千円、対前年比 3.6%の減少です。減価償却費を除くと、実質 1,287 千円の削減となります。

4 | 医業収入を伸ばしているクリニックの取り組み

収入を伸ばしている歯科医院は、次のような取り組みをしています。収入が伸びている歯科医院は、患者が望んでいること常に考えているといえます。

■具体的取組み

- 強みに特化している：歯科技術、地域性、競合等の経営環境から選択と集中、審美歯科、予防歯科、訪問診療、小児歯科、女性、高齢者、夜間・早朝・休日診療
- 技術革新を常に行なっている：レーザー、歯科用CT、無痛診療、インプラント
- 患者の安心感を高めている：治療計画の作成・提供、保証書の発行、ディスプレイ材の使用、消毒臭の排除、カウンセリングルーム、定期検診のご案内
- スタッフ教育を徹底している：即戦力を採用するのではなく普通のスタッフを一流にする教育システムを徹底、自費関連知識習得、治療・予防サポート、昼食会
- 交流・連携をしている：町内会、老人クラブ、学校、病院、診療所、介護関連施設等

3 | 平成 23 年 医療法人経営指標分析

*分析母体：歯科診療所（医療法人 70 件）の平成 23 年の決算データを集計。

*優良法人：上記調査対象法人より、医業収入上位 20%（14 件）。

■平成 23 年比較貸借対照表 全法人・優良法人（医業収入上位 20%）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
	全法人	優良法人		全法人	優良法人
【流動資産】	19,787	46,832	【流動負債】	12,212	10,084
現金・預金	6,290	16,587	買掛金	1,028	2,055
医業未収金	7,110	13,459	短期借入金	8,361	3,802
未収金	26	7	未払金	1,758	2,298
診療材料	876	1,423	預り金	281	462
短期貸付金	3,793	10,943	その他	784	1,467
未収収益	1,219	3,528			
貸倒引当金	△ 43	△ 122	【固定負債】	18,080	44,250
その他	516	1,007	長期借入金	15,191	38,936
【有形固定資産】	17,807	40,115	その他	2,889	5,314
建物	6,177	13,964	負債合計	30,292	54,334
建物付属設備	1,329	3,602			
構築物	344	784	資本の部		
医療用機械備品	3,729	6,336		全法人	優良法人
車両船舶	2,293	1,849	【出資金】	6,544	7,737
その他	3,935	13,580	【利益剰余金等】	12,170	47,104
【無形固定資産】	128	176			
【その他の資産】	11,284	22,052	資本合計	18,714	54,841
保険積立金	6,908	10,830			
長期前払費用	1,902	3,549	負債・資本合計	49,006	109,175
その他	2,474	7,673			
資産合計	49,006	109,175			

1 | 収益性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
収益性	総資本経常利益率 (%)	2.1%	3.6%	1.5%
	医業収入医業利益率 (%)	1.2%	1.4%	0.2%
	医業収入経常利益率 (%)	1.7%	3.4%	1.7%
	総資本回転率 (回)	1.2 回	1.0 回	△ 0.2 回

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■ 収益性分析コメント

● 利益率

優良法人平均数値が全法人平均数値を上回っています。

優良法人データは、医業収入上位 20%を抽出しており、収益性の高さが数値に現れています。

● 総資本回転率

全法人平均が 1.2 回、優良法人が 1.0 回という結果となりました。

2 | 生産性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
生産性	限界利益率 (%)	80.6%	79.5%	△ 1.1%
	1 人当たり医業収入/月 (千円)	622 千円	794 千円	172 千円
	1 人当たり限界利益/月 (千円)	501 千円	631 千円	130 千円
	1 人当たり人件費/月 (千円)	315 千円	387 千円	72 千円
	労働分配率 (%)	62.7%	61.3%	△ 1.4%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率です。	限界利益 ÷ 医業収入 × 100（％）
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	（医業収入 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	（限界利益 ÷ 医業収入） ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料などの企業負担も含めたもの）を見る指標です。	（総額人件費 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100（％）

■生産性分析コメント

●限界利益率

優良法人では 79.5%を示し、全法人平均と比べて△1.1%となっています。

●一人当たりの売上高（医業収入）

全法人平均では 622 千円、優良法人では 794 千円と 172 千円の差が出ています。優良法人の収益性の高さを反映した数値となっています。

●一人当たり限界利益

全法人平均では 501 千円、優良法人では 631 千円と 130 千円の差が出ています。

●一人当たり人件費

全法人平均では 315 千円、優良法人では 387 千円と 72 千円の差が出ています。

●労働分配率

比較的強く抑えられています。

3 | 安全性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
安全性	流動比率（％）	162.0%	464.4%	302.4%
	当座比率（％）	109.7%	280.0%	170.3%
	固定比率（％）	95.2%	73.1%	△ 22.1%
	固定長期適合率（％）	48.4%	40.5%	△ 7.9%
	自己資本率（％）	38.2%	50.2%	12.0%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	当座資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100(%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100(%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る指標です。	自己資本 ÷ 総資産 × 100(%)

■安全性分析コメント

- 全法人平均、優良法人双方が流動比率・当座比率とも高く、短期的な債務返済能力は高いといえます。また、換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全といえます。

4 | 成長性分析

		全法人平均	優良法人平均
成長性	医業収入増加率 (%)	△ 4.5%	△ 1.9%
	限界利益増加率 (%)	△ 2.9%	△ 1.9%
	医業利益増加率 (%)	△ 62.0%	39.0%
	経常利益増加率 (%)	△ 54.9%	19.8%

■成長性分析コメント

- 全法人平均では、全項目で前年対比マイナスであるのに対して、優良法人平均では、医業利益、経常利益で前年度プラスで推移しており、その他の項目でもマイナス幅を低く抑えています。
- 上記結果より特筆すべきは、優良法人は医業収入のマイナス傾向にも関わらず、医業利益および経常利益のいずれも、増加率はプラスを示している点です。その他固定費の数値が減少していることから、固定費の圧縮に取り組んでいる成果だと思われます。これは、収入の確保と並行してコスト削減の取り組みを図ることが、利益確保の原点であるということを示しています。

歯科経営情報レポート 5月号

歯科医院経営データ分析 平成 23 年歯科医療法人経営実績報告

【著 者】日新税理士事務所

【発 行 者】桐元 久佳

【発 行】日新税理士事務所

大阪府中央区船越町 2-1-11 2F

TEL : 06-4790-9707 FAX : 06-4790-9710

落丁・乱丁本はお取り替え致します。本書に掲載されている内容の一部あるいは全部を無断で複写することは、法律で認められた場合を除き、著者および発行者の権利の侵害となります。その場合は、あらかじめ小社あて許諾を求めて下さい。

